

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役副社長
渡利 千春



新緑の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。副社長鉄道事業本部長の渡利です。日頃から、地域との連携や環境美化、駅での声かけ活動など、当社に対し変わらぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年度、JR東日本グループでは、新たな経営ビジョン「勇翔2034」を掲げ、安全を基盤に持続的な成長をめざし、これまでの“当たり前”を超えるべく、さまざまな挑戦をしています。また、「鉄道を中心としたモビリティ事業にはまだ大きな成長の余地がある」ということをグループ社員全員で共有すべく、中長期成長戦略「PRIDE & INTEGRITY」を策定しました。

しかし、今年1月中旬以降、大きな輸送トラブルを連続して発生させてしまいました。諸先輩の皆さまにも多大なご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。従来から継続している安全基盤の強化に加え、発生した事象一つひとつを丁寧に深掘りし、再発防止策を確実に実行してまいります。コロナ禍においてやむを得ず緊縮的な対応を取ったこと、鉄道の技術力の維持のあり方についても、資金・人財を確保するなど、負のスパイラルに陥らぬよう手を打ってまいります。

今年7月には大規模な組織再編を予定していますが、指令の管轄範囲はこれまでどおりとし、地上設備のメンテナンス体制も従来の枠組みを維持するなど、鉄道オペレーションの安定性にも十分配慮して準備を進めています。そのうえで、AI、ロボティクスといった新しい技術と、既存の成熟した技術を融合させて活用するなど、安全レベルの向上と業務改革を同時に実現していく考えです。

今年3月には、JR東日本発足後初めてとなる本格的な運賃改定を行いました。車両や地上設備の健全性確保、ホームドア整備など、安全性とサービス水準の向上、そして鉄道の持続可能性を高めるための大きな一歩と考えております。ご利用時の負担が増すこととなり、諸先輩をはじめお客さまには誠に心苦しい限りですが、すべての社員がお客さまを思い、より良いサービスの提供につなげられるよう努めてまいります。ご理解を賜れば幸いです。

諸先輩の皆さまには、長きにわたり当社を支えていただき、40年目となるJR東日本の礎を築いていただいたことに、改めて深く感謝申し上げます。どうか、第一線で頑張っている社員たちへのエールを、そして私たち現経営陣には叱咤激励をくださりつつ、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

皆さまのご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。